

みんなの広場

前向きに生きる

先日、テレビで93歳のお年寄りが高校を卒業され、続いて大学に入学されたことが放送されていましたが、これを見て、そのお年寄りの生きる姿勢に感銘を受けました。

高校生活も単に卒業されたというだけではなく、曾孫のような若者達と一緒に体育の授業も受け、議論もして卒業されたそうです。

また、この方の奥さんは老人性痴呆症で車椅子の生活だったそうですが、このお年寄りの丹精込めた介護で、奥さんは歩けるようになりまでられたそうです。これは単にリハビリテーションの成果というよりは、この方の奥さんに対する真心と熱意、それに何よりも前向きな姿勢の気迫とでも言うものに奥さんが励まされたことが大きかったことだと思います。

「人生は生涯が勉強だ！ 今度は大学院を目指す！ 私は120歳まで生きるつもりだからまだまだ十分に時間がある」とおっしゃったこの意気込みにはただ々敬服すると共に、この方から見れば孫のような自分が意気込みでは負けていることに恥ずかしくなりました。

そして、私達は、お年寄りのお世話をさせて貰うものには、真心と同時にこの方のような前向きな姿勢が大切ではないかと痛感しました。

その気迫が、お年寄りを勇気づけ、前向きに生きる姿勢を持って貰えるのではないかと思います。(協会員 杉岡美香子)

福祉用具リサイクル情報内案

【譲りたい情報】

- ◆ 電動車椅子1台
- ◆ 障害児用車椅子1台
- ◆ 車椅子装着用テーブル
- ◆ 手すり(洋式トイレ用)
- ◆ 歩行器
- ◆ 老人車1台(新品)

【譲りました情報】

- ◆ 車椅子3台
- ◆ 老人車3台

移送サービスについて

対象・体が弱いお年寄りの方
 利用内容・通院等外出時に車による送迎サービス
 時間・随時 (ご利用希望者は年間530円の移送サービス保険料が必要)
 利用料・◇一宮市内一円
 片道 700円(運転料500円+お迎え料200円)



◇走行時間30分以上の場合
 片道 1,200円 (運転料1,000円+お迎え料200円)
 + (15円/Km×利用者宅から目的地までの走行距離)
 但し、遠方の目的地で車だけ帰る場合は目的地から利用者宅までの送行距離のガソリン代1キロ15円が必要

◇30分以上待つ場合は待ち料金が必要
 ◇待ち料金は30分毎に350円

お知らせ

この度の年度末決算で次のように平成10年度の交通費補助が決まりました。

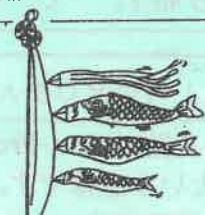
事務所当番
 運営委員会 (1回500円)
 一宮へボランティア (1回300円)

5月10日(月)の定例会でお支払い致します。

平成10年度に、事務所当番や一宮寮へボランティアに参加された方で、定例会を欠席される方は事務所までお出掛けください。

5月の予定

- 1日(土) 会報「まごころ」発行
- 6日(木) ミニデイサービス(場所・保育園)
一宮ボランティア 宮田、樺葉、築城
- 10日(月) 定例会
- 12日(水) 運営委員会
- 13日(木) 介護保険事業者説明会(名古屋)
ミニデイサービス(場所・事務所)
一宮ボランティア 村橋、大橋
- 17日(月) 一宮ボランティア 谷、安藤、小川曾
- 19日(水) コーディネーター会議
- 20日(木) ミニデイサービス(場所・保育園)
一宮ボランティア 野田、田中
- 24日(月) 一宮ボランティア 小島、川崎、鮎
- 26日(水) 運営委員会
- 27日(木) ミニデイサービス(場所・事務所)
一宮ボランティア 岩田、小出
- 31日(月) 一宮ボランティア 安福、松本、楠



6月の定例会は

- 6月7日(月) 午前9時45分~午後3時
- ◆ ケア活動事務手続き 9時45分~10時15分 事務所
- ◆ 全体定例会 10時15分~12時00分 //
- ◆ 研修会 講義 13時00分~15時00分 //

この日はケアはお休みです
 利用会員さんんよろしくお願ひ致します。



診療室日記

高齢者の疥癬 岩田 忠俊

在宅の寝たきり高齢者の方々に疥癬が広がっています。「疥癬」とは「ひぜん」とも云い、ヒゼンダニというダニが皮膚にもぐり込んで激しい痒みと紅いブツブツができる皮膚病です。戦後大流行しましたが、衛生状態の改善、殺虫剤の普及により一時は激減したのですが、海外旅行が活発になってから再び持ち込まれ現在では全国に広がっています。

通常、家族内で感染することが多いのですが当直室、仮眠室、寮、病室、老人ホームなどでベッドや寝具を介して感染し、集団発生することもしばしばです。残念ながら病院や老人保健施設などで患者さんが入院したり、ショートステイなどの介護を受けた際に感染することもあり、その後、在宅で介護を受けている間に入浴などがうまく出来ずに全身に広がってしまうケースなど問題になっています

【症状】は、指のまた、腋、陰部などに小さな紅いブツブツが沢山出来て猛烈に痒みがあります。男性では陰囊に比較的硬い米粒くらいのしこりができることが多く特徴的です。また寝たきりの高齢者における疥癬の特殊性として次のような点が挙げられます。

1. 痒みを訴えることが出来ない方(意識障害等)があるため発見が遅れる。
2. 高齢者には皮脂減少性湿疹や乾皮症、基礎疾患による全身に痒みをとまなう場合が多く、疥癬と鑑別を要する多い。
3. 経過が長く症状が強い疥癬は通常の疥癬の病状とは異なることがある。

【診断】は、皮疹をメスでうすく削ってこれを顕微鏡で調べて疥癬虫やその虫卵が見つかれば確定診断がつかます。ただいくつかの皮疹を調べないと見つからない場合があります。

【治療】は、イオウ剤の外用や安息香酸ベンジルローションなどを用いムトーハップ浴(湯ノ花：イオウ成分)を行います。ここで注意が必要なのはイオウカプレです。ムトーハップの濃度を濃くしたり、イオウ製剤をすり込んで使用すると真っ赤にカブレしてしまう人がいます。尚、患者さんの寝具、ベッド、衣類は消毒する必要があります。同時に家族全員で治療することも重要です。

高齢者の増加と在宅で介護をうける方が増えて来て、褥瘡(床ずれ)とともにこの疥癬の診断・治療は皮膚科における往診の最も多いもののひとつです。先日も、在宅訪問診療をしておられる先生からの依頼で寝たきりのお婆さんを診察に出かけましたが、やはりこの疥癬でした。この先生もおっしゃっておられました。在宅医療と云う名の元に家族への負担が重くのしかかり、往診でいつも社会の縮図を見せつけられ、日本は決して経済大国でも裕福な国でもないことを知らされるとのことでした。そんな中で「疥癬」も確実に広がって来ています。

今後、もっともっと寝たきり高齢者が増加したら一体どうなっていくのでしょうか？日本中の皮膚科医が何らかの形で在宅医療に関わるようになっていくことになるでしょう。(岩田皮膚科院長)